

(様式4)

事業所名:ほっとハウスしまうちの家

## 目標達成計画

作成日: 令和 3年 1月 12日

目標達成計画は、自己評価及び外部評価結果をもとに職員一同で次のステップへ向けて取り組む目標について話し合います。

目標が一つも無かったり、逆に目標をたくさん掲げすぎて課題が焦点化できなくならないよう、事業所の現在のレベルに合わせた目標水準を考えながら、優先して取り組む具体的な計画を記入します。

【目標達成計画】					
優先順位	項目番号	現状における問題点、課題	目標	目標達成に向けた具体的な取り組み内容	目標達成に要する期間
1	10	面会時や、電話での連絡時など、利用時の様子や最近の様子、変化などを伝えてきていたが、どうしても利用者様の「できなくなってきている事」「認知面の進行」などネガティブな情報に職員の意識が向いてしまい報告内容もネガティブな事になってしまっていた。	職員で意識して「今でもできる事」「できないと家族は思っているが、職員が目や手があればできること」などポジティブな面の報告も家族にできるようにする！	面会時や電話が来た際など、意識してポジティブな面の報告も実施している。また、イベントや行事の時などに「今でもできる事」「職員が目や手があればできる事」を意識した内容を実施し、イベントの報告を家族に伝えるように動き始めている。(例)1月には「書初め」を行い、玄関先に目に見えるように展示したり、お便り等にも掲載して報告するようにしている。ご家族からも、「お母さんまだ字、書けたんだ。書けないと勝手に思った。」との声も聞かれている。継続し、ポジティブな面を意識しながらの活動の実施や報告を行っていき、12カ月後には何例も目標達成に向けた活動や報告の例が挙げられるよう取り組んでいく。	12ヶ月
2	26	コロナの影響もあったが、開所から1年が経過する中で、家族との時間や機会が予想していたより取れていない部分がある。連絡を頻回にくれる家族や、面会が多い家族には向き合う機会も多く信頼関係の構築の機会もあるが、そうでない家族との向き合う時間や機会が課題と言える。	コロナの状況に合わせてながらではあるが、状況によって可能であれば、利用者と職員と一緒に作った昼食をご家族もお呼びして一緒に食べる食事会を開催する。	今の「しまうちの家」の利用者様の多くは、職員と一緒にあれば、できる事が多いので、「利用者様が皮をむいた野菜」「利用者様が切った食材」「利用者様が焼いた料理」など一人ひとりができる事を担当し作った昼食をご家族と一緒に食べる「食事会」の開催を目指す。職員とご家族も加え、その場を普段とは違う関わりの場にして、意見や要望を聞いたり、ご家族同士の関わりの場にもなるようにしたい。(コロナの状況によっては、変更の必要もあるかもしれないが)	12ヶ月
3					ヶ月

注) 項目の欄については、自己評価項目のNo.を記入して下さい。項目数が足りない場合は、行を挿入してください。

複数のユニットを有する事業所において、事業所全体でユニットごとの目標の総括を行う場合は、本様式を1つ作成してください。